

平成27年度病害虫発生予察注意報第2号

平成27年9月15日
愛知 県

作物名：キャベツ
病害虫名：コナガ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 9月上旬の巡回調査(14ほ場)では、5ほ場で発生を確認した。発生ほ場率35.7%(平年9.0%、前年0%)、寄生株率1.1%(平年0.3%、前年0%)で、過去10年と比較して発生ほ場率、寄生株率とも最も高い。
- (2) 6月収穫のキャベツ栽培面積が増加し、キャベツ栽培がほぼ周年化してきている。このため、従来、夏季には発生量が激減していたのが、通年発生するようになり、薬剤感受性低下個体群も絶えることなく維持されている。

4 防除対策

- (1) ほ場での発生状況をよく観察し、適用のある農薬で防除する(表)。
- (2) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤を連用しない(表)。
- (3) ジアミド系薬剤(フェニックス顆粒水和剤、プレバソフフロアブル5)の効果が低い個体群が県内で確認されている。これら薬剤の効果低下が疑われる場合は、別系統の薬剤を散布する(表)。
- (4) 発生が多いほ場は、周辺ほ場への発生源になるので、収穫終了後は速やかにすき込む。

表 コナガに対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統
キャベツ	アクセルフロアブル	1000倍	収穫前日まで	3回以内	その他
	アニキ乳剤	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内	マクロライド
	スピノエース顆粒水和剤	2500~5000倍	収穫3日前まで	3回以内	スピノシン
	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	スピノシン
	トルネードエースDF	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	オキサダイアジン
	パダンSG水溶剤	1500倍	収穫14日前まで	4回以内	ネライストキシン
野菜類	フローバックDF	1000~2000倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—	BT

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471